

事後評価調書(案)

I 事業概要																															
事業名	地すべり対策事業																														
地区名	大畑区域																														
事業箇所	愛知県北設楽郡東栄町大字東藪目地内																														
事業のあらまし	<p>大畑区域は、愛知県北設楽郡東栄町に位置し、約 100ha が地すべり防止区域に指定されている。周辺の大部分は山林であるが、平坦地には農地が存在し、人家や公共施設が点在している。</p> <p>昭和 43 年の豪雨により地すべり活動が活発となり、翌年には崩壊が確認されたため、昭和 45 年度から調査を開始し、昭和 46 年度から対策工事に着手した。</p> <p>その後、昭和 57 年の豪雨により、それまでとは別の場所でも新たな地すべりが確認されたため、昭和 60 年度に地すべり防止区域を拡大し、新たに地すべり防止工事基本計画を策定した。</p> <p>また、平成 8 年には過去の調査結果よりも非常に深い地中で、地すべりの動きが確認されたため、これに対応して平成 10 年度に計画を変更し、さらに、その後の詳細な調査結果を踏まえ、平成 15 年度に再度計画の変更を行った。</p> <p>平成 15 年度以降はこの計画に沿って事業を実施したが、計画施設をすべて整備する以前に地すべりが所定の安定性を有することとなったため、平成 21 年度に工事を打ち切り、事業を完了した。</p>																														
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>人家 29 戸及び県道、町道、一級河川、老人憩いの家などの公共施設、農地や山林を地すべりから保全する。</p> <p>【副次目標】</p> <p>なし。</p>																														
事業費	事業費	内訳																													
	20.43 億円	□工事費 13.57 億円、□用補費 0.21 億円、□その他 6.65 億円																													
事業期間	採択年度	昭和 46 年度	着工年度	昭和 46 年度	完成年度	平成 24 年度																									
事業内容	集水井工 12 基、集水ボーリング工 199 本、アンカー工 197 本、調査観測 一式																														
II 評価																															
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>ボーリングなどの地すべり調査によって定められた地すべり防止計画に沿って、工事を実施した結果、地すべり活動があった時と同規模以上の降雨があっても地すべり活動は生じなくなった。したがって、地すべり活動は抑えられており、保全対象は守られている。</p> <p><対策工事期間中の降雨発生状況と降雨後の現地状況></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ブロック番号</th> <th>工事期間</th> <th>工事完了前に地すべり活動がみられた雨量</th> <th>工事完了後の最大連続雨量</th> <th>対策工事後の地すべり活動の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A・Bブロック</td> <td colspan="4">現地踏査した結果、明瞭な地すべり活動が無いことから対策は実施せず。</td> </tr> <tr> <td>Cブロック</td> <td>S62～H7</td> <td>426mm (S57.08.01～03)</td> <td>430mm (H10.09.21～28)</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>大規模ブロック (I～VI)</td> <td>S46～H21</td> <td>365mm (S44.08.04～05)</td> <td>376mm (H22.07.11～15)</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>VIIブロック</td> <td>H10～H14</td> <td>224mm (H6.09.16～19)</td> <td>411mm (H19.07.10～15)</td> <td>無</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>上記のことから、事業目標は達成している。</p>					ブロック番号	工事期間	工事完了前に地すべり活動がみられた雨量	工事完了後の最大連続雨量	対策工事後の地すべり活動の有無	A・Bブロック	現地踏査した結果、明瞭な地すべり活動が無いことから対策は実施せず。				Cブロック	S62～H7	426mm (S57.08.01～03)	430mm (H10.09.21～28)	無	大規模ブロック (I～VI)	S46～H21	365mm (S44.08.04～05)	376mm (H22.07.11～15)	無	VIIブロック	H10～H14	224mm (H6.09.16～19)	411mm (H19.07.10～15)	無
	ブロック番号	工事期間	工事完了前に地すべり活動がみられた雨量	工事完了後の最大連続雨量	対策工事後の地すべり活動の有無																										
	A・Bブロック	現地踏査した結果、明瞭な地すべり活動が無いことから対策は実施せず。																													
	Cブロック	S62～H7	426mm (S57.08.01～03)	430mm (H10.09.21～28)	無																										
	大規模ブロック (I～VI)	S46～H21	365mm (S44.08.04～05)	376mm (H22.07.11～15)	無																										
	VIIブロック	H10～H14	224mm (H6.09.16～19)	411mm (H19.07.10～15)	無																										

	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】 該当なし。</p> <p>【達成状況に対する評価】 該当なし。</p>																																								
② 事業効果の発現状況	【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>最終変更計画(H15)</th> <th>実績</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">事業期間</td> <td>S46～H22</td> <td>S46～H21</td> <td>経過観測はH24まで実施</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事業費 (億円)</td> <td>工事費</td> <td>15.89</td> <td>13.57</td> <td></td> </tr> <tr> <td>用補費</td> <td>0.22</td> <td>0.21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>6.45</td> <td>6.65</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>22.56</td> <td>20.43</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">効果の算定要因</td> <td>保全対象人家</td> <td>29戸</td> <td>27戸</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保全対象公共施設</td> <td>5施設</td> <td>5施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県道、市町村道、河川</td> <td>県道 2.38km 町道 1.35km 一級河川 3.0km</td> <td>県道 2.38km 町道 1.35km 一級河川 3.0km</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				最終変更計画(H15)	実績	備考	事業期間		S46～H22	S46～H21	経過観測はH24まで実施	事業費 (億円)	工事費	15.89	13.57		用補費	0.22	0.21		その他	6.45	6.65		合計	22.56	20.43		効果の算定要因	保全対象人家	29戸	27戸		保全対象公共施設	5施設	5施設		県道、市町村道、河川	県道 2.38km 町道 1.35km 一級河川 3.0km	県道 2.38km 町道 1.35km 一級河川 3.0km	
			最終変更計画(H15)	実績	備考																																					
	事業期間		S46～H22	S46～H21	経過観測はH24まで実施																																					
事業費 (億円)	工事費	15.89	13.57																																							
	用補費	0.22	0.21																																							
	その他	6.45	6.65																																							
	合計	22.56	20.43																																							
効果の算定要因	保全対象人家	29戸	27戸																																							
	保全対象公共施設	5施設	5施設																																							
	県道、市町村道、河川	県道 2.38km 町道 1.35km 一級河川 3.0km	県道 2.38km 町道 1.35km 一級河川 3.0km																																							
<p>【事業期間に対する評価】 計画期間内に事業を完了している。</p> <p>【事業費に対する評価】 追加のボーリング調査により、その他の費用が微増したものの、他の事業費については、最終変更計画よりも下回った。</p> <p>【効果の算定要因に対する評価】 保全対象人家は微減である。他の状況は変わっていない。</p>																																										
③ 事業実施による環境の変化	<p>集水井工、集水ボーリング工、アンカー工などの地すべり防止施設は、小規模かつ点在するものであり、その設置にあたっては、地形改変を最小限にとどめたこと、地下水位の低下による生活環境への影響がみられなかったことなどから、事業実施による環境の大きな変化はみられない。</p>																																									
III 対応方針（案）																																										
今後の事後評価の必要性	事業目標を達成しており、今後の事後評価の必要性はない。																																									
改善措置の必要性	事業効果が十分に発現しており、新たな課題もみられないため、改善措置の必要性はない。																																									
同種事業に反映すべき事項	事業期間中に、事業採択当初の調査結果よりも深い地中で地すべりの動きが確認され、計画を大幅に見直した。大規模な地すべりにおいては、十分に調査を実施し、慎重に計画を策定する必要がある、今後の同種事業の参考としたい。																																									
IV 事業評価監視委員会の意見																																										
V 対応方針																																										